



## 点検評価委が報告書を提出

町振興公社への措置について提言



報告書を手渡す長谷川委員長(右)と津金町長(左)

町が出資・出えんしている第三セクターなどの外郭団体の運営状況について点検評価をするために昨年度設置された「公社等外郭団体点検評価委員会(長谷川与一委員長)」。これまでに11回の会議を開き、(財)猪苗代町振興公社の点検評価を終え、6月12日、町がとるべき措置について町長に報告書を提出しました。

報告の概要では「議会や町民への説明責任を果たしつつ、理解を得て、今後の内外の諸環境および諸条件を検討して、早急に存続あるいは解散(清算)を含めた抜本的な改革を図る必要がある」などとしています。

## 災害など万が一に備え協定

町と福島県建設業協会猪苗代支部



(右から) 津金町長、渡部支部長、渡部副支部長

町と県建設業協会猪苗代支部(渡部泰夫支部長)は6月4日、町役場で「災害時における応急復旧工事等についての協定」を締結しました。協定では、地震、火災や水害、風雪害などの災害が発生または発生する恐れがある場合、同支部と町などが協力し、早急に応急復旧工事に当たることとしています。

締結式には渡部泰夫支部長、渡部寛規副支部長と津金町長が出席、両者が調印し協定を結びました。

渡部支部長は「地元の建設業者として、地域の皆さんの役に立てれば」と話し、有事の際の支援を約束しました。

## 古式ゆかしい嫁入りを再現

「おシンさんの嫁入り」イベント



花婿役の剛さん(右)と花嫁役の祐理子さん(左)

町の昭和初期の祝言の模様を再現する「おシンさんの嫁入り」行列は6月13日、町内で開催されました。

花婿・花嫁役は、昨年3月に結婚した町内在住の安藤剛さん(33)・祐理子さん(25)夫妻。二人は緊張した様子ながらも最後まで大役を務めました。

行列は土津神社前から中央商店街を通り、メイン会場の町体験交流館までを練り歩き、稲川酒造店前での「受け取り渡し」や、町体験交流館の「結び・振る舞い」には多くの見物客やアマチュアカメラマンが詰め掛け、会場は祝福ムードに包まれました。

## 猪苗代兼載の偉業をしのぶ

小平潟で没後500年祭と講演会



連歌師・兼載の業績などについて講演をする戸田さん

町内の小平潟で生まれ、京都で連歌師として修行を積み、最高位まで上り詰めた猪苗代兼載(1452 - 1510)の没後500年祭と記念講演会は6月6日、小平潟天満宮で開催されました。

約120人が出席した式典では、主催した小平潟区の佐藤善司区長のあいさつの後、神事や連歌の奉納をし、兼載の偉業をしのびました。続く記念講演では、小平潟出身で埼玉県立皆野高教諭の戸田純子さんと、県立博物館の川延安直主任学芸員がそれぞれ兼載の生涯や小平潟天満宮の宝物などについて講演をしました。

小平潟地区では、今後兼載ゆかりの史跡の整備をする予定です。

## 町の農業振興の中心として

小林功さんに農業委員の辞令交付



津金町長(右)から辞令を受け取る小林さん(左)

新農業委員の辞令交付式は6月22日、町役場で開催されました。会津農業共済組合の役員改選に伴い、小松山新一委員の代わりに小林功さん(千代田)が推薦され、この度選任されたのを受け実施されたものです。

辞令を手渡した津金町長は「農業を取り巻く環境は大変厳しい状況になっていますが、町農業の発展のために尽力していただきたい。有機の里づくりの推進のために自給率の向上、地産地消に取り組んでほしい」と小林さんを激励しました。

小林さんの任期は、小松山委員の残任期間となります。

## 「人」中心のまちづくりへ

歩いて暮らせるまちづくりを模索



委員会でワークショップに取り組む推進委員ら

車に頼り過ぎない「人」中心のまちづくりを進め、高齢者や子育て世代が安心して生活や活動のできる環境をつくるため、猪苗代町歩いて暮らせるまちづくり推進委員会(小松山六郎会長)が4月に発足しました。委員会では、町の現状を調査し、「健康づくり」「子育て支援」「地域間・世代間交流」などを目的に旧役場跡地に整備が計画されている拠点施設のあり方などについてワークショップを開催しています。

今後も議論を重ね、具体的な施策などを検討していく予定です。懇談会にも出向きますので、気軽にご相談ください。





# 第 61 回磐梯まつり — 7 月 25、26 日開催 —

— 磐梯まつりの始まり —

噴火により亡くなった人々の魂を慰めたい。大災害を起こしながらも、300 を超える湖や沼をつくり豊かな自然と素晴らしい景色を創り上げた偉大な自然の力に感謝したい。磐梯まつりは、この二つの思いをきっかけに始まり、今年で 61 年目を迎えます。

目前に迫った磐梯まつりから注目のイベントを紹介します。皆さんの参加をお待ちしています。

## イベントピックアップ

### 1. たいまつ行列 25 日 17:30 ~ 20:30

御神火に込めたさまざまな想い

「御神火」とは、磐梯山の神様から授かった火のこと。たいまつ行列は代々、この御神火に噴火殉難者への供養、町民や来訪者の家内安全・子孫繁栄などの願いを込めて開催されてきました。参加した人に「祈願札」を配布。その札にそれぞれ願いを書き入れてもらい、おまつり広場で「焼納」の儀式を執り行います。その後、参加者には磐梯大明神のお守りを配布します。



### 2. 山車とみこしの競演 25 日 14:30 ~ 16:00

みんなで盛り上げよう「やっかやれやれやれ〜」

山車(だし)、みこし、創作みこしが町内各地から集結、総勢 10 基が町を練り歩く、パワーあふれるイベントです。かけ声に合わせ、引き手や担ぎ手が汗を流して盛り上げます。観客の皆さんも応援よろしくお願いします。

町内有志の皆さんが猪苗代湖の葦を利用して作り上げた「手作り山車・イノシシ君」が登場します。

どんなイノシシが登場するのか、皆さんお楽しみに。



ボートで湖面の風を感じる気持ちよさは格別。天気が良ければ湖面に映る磐梯山が見られるかも

協賛イベント

「モーターボートで行く 猪苗代湖 湖上遊覧」

開催日時 7 月 25 日(土)、26 日(日)

1 日 5 便(9:30 10:30 11:30 13:30 14:30 出港)

定 員 1 便あたり定員 8 人(小学生以下も含む)

定員になり次第締め切りとします。

※イベント保険加入のため、乗船者全員の住所、氏名、年齢、連絡先が必要です。

問い合わせ先 翁島港マリーナ(マリーナ・レイク猪苗代)

☎(63)0580 FAX(63)1355

Mail info@okinajima.com

問い合わせ先

磐梯まつり実行委員会事務局(猪苗代町役場 商工観光課) ☎(62)2117 Fax(62)5175

磐梯まつりホームページ(町役場ホームページ内) HP <http://www.town.inawashiro.fukushima.jp/>

## 町内で 2 人が満 100 歳に

小林さん、遠藤さんに知事賀寿



賀寿を受ける小林さん(左)とおいの小林さん(中央)

6 月 9 日に満 100 歳の誕生日を迎えた小林トモさん(下館)への知事賀寿贈呈式は同日、特別養護老人ホーム「いなわしろホーム」で挙行されました。

山口靖明会津保健福祉事務所長が知事賀寿と記念品の会津漆器の木杯を贈呈。続いて津金町長、戸田忠義町老人クラブ連合会長が賀寿と記念品を手渡しました。

花束贈呈の後、トモさんのおいの小林博さん(北高野)が謝辞を述べました。

長生きの秘訣は「好き嫌いなく何でも食べる」ことです。



賀寿を受ける遠藤秀さん

6 月 11 日に満 100 歳の誕生日を迎えた遠藤秀さん(川上)への知事賀寿贈呈式は 13 日、町内のリゾート・インぼなりで挙行されました。

萩尾正人会津保健福祉事務所副所長が知事賀寿と記念品の会津漆器の木杯を贈呈。続いて津金町長、戸田忠義町老人クラブ連合会長が賀寿と記念品を手渡しました。

ひ孫の卓也佳さん、安也奈さんから花束が贈られた後、孫の夫の徹さんが謝辞を述べました。

長生きの秘訣は「1 日 3 食を欠かさず食べる」ことです。

春の叙勲 大坂藤樹さん

## 地方自治功労者として 旭日双光章を受章



Profile おおさか・とうじゅ

1936 年新屋敷生まれ、80 年から 08 年までの 28 年間町議会議員、そのうち 5 年 6 ヶ月を議長として活躍。その手腕は猪苗代にとどまらず、2003 年には北会津地方町村議会議長会会長を始め福島県町村議会議長会会長、北海道・東北町村議会議長会会長を務めた。

●受賞歴 91 年 福島県町村議会議長会表彰、96 年 全国町村議会議長会表彰、2000 年 福島県町村議会議長会表彰、猪苗代町特別功労表彰、04 年 福島県町村議会議長会表彰、05 年 全国町村議会議長会表彰

温厚で誠実、卓越した識見と指導力で地域住民の信頼も厚い元町議会議員の大坂藤樹さん(73)＝新屋敷。春の叙勲で旭日双光章を受賞した。「勲章をいただけるなんて考えたこともなかった。長い年月にわたり支えてくれた地域の皆さんの応援のおかげ。感謝しています」と話す。

80 年町議に初当選。以来 2008 年まで 7 期 28 年間にわたり町政の発展に努めた。この間、文教厚生常任委員会委員長、議会議長などを歴任し、一問一答制の導入など議

会の進展に務める一方、福島県町村議会議長会会長、北海道・東北町村議会議長会会長なども務めた。

「28 年の議員人生を終えてみたら、人生の残り時間が少なくなっていた」と笑うが、その顔は 73 歳には見えないほどはつらつとしている。「人間の幸せ、人生というものは人間関係の中にあると思っています。いろいろなことを通して出会った人々、隣人たちと喜怒哀楽を共にして、最高に楽しく生きていきたい」と笑顔で話している。